

# 3月定例議会

平成26年第1回立科町議会定例会が、3月4日より17日まで開催され、町長より提出された案件が、本会議及び常任委員会で慎重審議され、全議案が原案どおり可決されました。

今議会では、平成26年度予算が一般会計ほか8件、平成25年度補正予算が一般会計ほか6件の審議がされました。

他に、立科町課等設置条例等の条例の一部改正が7件、ハートフルケアたてしの法人化に伴うハートフルケアたてしな事業会計の廃止や福祉施設整備基金条例等の廃止が3件、町道路線1路線の認定が主なものです。

また、人事案件では、固定資産評価審査委員に中澤邦雄氏（桐原）、人権擁護委員に市川義則氏（西塩沢）が議会の同意を得て選任されました。



## 役場の組織改革について

役場組織の機構改革により、「産業振興室」が新設されました。

町の産業・観光・移住交流等の重要施策を推進するため設置され、関係課等との連絡調整を図りながら円滑な事業推進をしていきます。

主な職務は次のとおりです。

- ・ 商工業振興に関する事項
- ・ 観光振興に関する事項
- ・ 企業誘致に関する事項
- ・ 移住交流に関する事項
- ・ 労働に関する事項
- ・ その他産業振興に関する事項

また、町づくり推進課の「町づくり推進係」が「地域企画係」に名称変更となります。

平成26年度	<b>当初予算</b>	<b>総 額</b>	76億 784万円	<b>財政係</b>
		一般会計	43億4,500万円	
		特別会計(8会計)	32億6,284万円	

3月に開かれた平成26年立科町議会第1回定例会で、予算額43億4,500万円の一般会計と、6つの特別会計・2つの公営企業会計を含めた総額76億784万円の当初予算が可決されました。

「子育て支援」「立科教育」「環境（生活、自然・水、歴史・文化）」「産業振興支援」「高齢者福祉」「将来への投資」の6つに重点をおき、継続事業においても必要性・事業効果等を検討した予算編成を行いました。

平成26年度の一般会計は、前年度予算と比較して、額で3億4,500万円、率にして8.6%の増となりました。また、特別会計等を含めた予算額全体では、前年度当初予算と比較して、額で3億9,806万円、率にして5.5%の増となりました。

### 平成26年度

## 一般会計予算の概要

平成26年度一般会計予算の歳入歳出総額は、43億4,500万円で、前年度より3億4,500万円の増額となりました。

### 歳入

町税は、個人町民税で前年度比3・5%の減額を見込んだ一方、固定資産税、入湯税等は増額を見込み、町税全体で1389万円の増となりました。繰越金は昨年度末で廃止となった福祉施設整備基金、ハートフルケアたてしな事業会計からの繰入金を一般財源化することにより5億2300万円を計上しました。予算総額の38・4%を占める地方交付税は、16億7000万円を見込みました。また、町債は、普通交付税の代替財源である臨時財政対策債を1億8200万円計上しました。

### 歳出

目的別にみると、民生費が10億5555万円（24・3%）と最も多く、続いて土木費8億3038万円（19・1%）、総務費7億6998万円（17・7%）の順となりました。性質別にみると、普通建設事業費が、社会資本整備総合交付金道路整備事業の増により、1億613万円の増（前年度比32・2%増）となりました。また、社会福祉法人ハートフルケアたてしなへの補助金、新クリーンセンター整備費負担金等の増により、補助費等が1億6448万円の増（前年比23・8%増）となりました。なお、公債費は3255万円の減（前年比9・4%減）となっています。